

貯 法	室温・しゃ光保存， 吸湿注意
使用期限	外装に記載

Pancal®

パントテン酸製剤

パンカル®散

パントテン酸カルシウム散

日本標準商品分類番号
8 7 3 1 3 3

承認番号	(東薬)4564
薬価収載	1960年 6月
販売開始	1958年11月
再評価結果	1992年 6月

〔組 成・性 状〕*

パンカル散は、1g 中日本薬局方パントテン酸カルシウムを 100mg 含有する白色の散剤である。
添加物として、トウモロコシデンプンを含有する。

〔効 能・効 果〕

1. パントテン酸欠乏症の予防および治療、パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦など)
 2. 下記疾患のうち、パントテン酸の欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合
ストレプトマイシンおよびカナマイシンによる副作用の予防および治療、接触皮膚炎、急・慢性湿疹、弛緩性便秘
- なお、2. の適応(効能・効果)に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

〔用 法・用 量〕

通常、成人にはパントテン酸カルシウムとして1日10～200mg (0.1～2.0g)を1～3回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

副作用(再審査対象外)
消化器(0.1%未満)
大量投与により、腹痛、下痢等があらわれることがある。

〔薬 物 動 態〕

1. 吸 収¹⁾
参考(動物実験)
経口投与されたパントテン酸は主として小腸粘膜から受動的拡散によってそのままの形で吸収される。
2. 排 泄²⁾
参考(海外データ)
ヒトに経口投与した場合、尿中に30～60%が未変化体として排泄され、その量は投与量の増加に従い多くなる。

〔臨 床 成 績〕

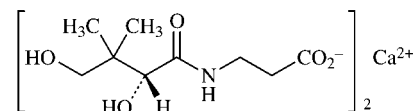
ストレプトマイシンおよびカナマイシンによる副作用の予防および治療にパントテン酸カルシウムを用いた症例について文献より集計した結果、難聴の患者143例中81.1%(116例)、耳鳴の患者41例中78.0%(32例)、その他の副作用については236例中73.7%(174例)に有効である。
また接触皮膚炎では32例中68.7%(22例)、急・慢性湿疹では83例中60.2%(50例)に改善が認められている。

〔薬 効 薬 理〕

パントテン酸はCoAの構成成分であり、CoAは生体内でアセチル化をはじめ、ステロイド、脂肪酸、ポリフィリン等種々の生体必須物質の合成に関与するとともに、脂肪、蛋白質、炭水化物の代謝にも関与している。
パントテン酸欠乏症の予防および治療³⁾
パントテン酸の欠乏ラットでは成長停止、脂漏性皮膚炎等がみられ、パントテン酸の投与により回復が認められている。

〔有効成分に関する理化学的知見〕*

一般名: calcium pantothenate(パントテン酸カルシウム)
化学名: Monocalcium bis[3-[(2R)-2,4-dihydroxy-3,3-dimethylbutanoylamino]propanoate]
構造式:



分子式: C₁₈H₃₂CaN₂O₁₀
分子量: 476.53
性 状: 白色の粉末で、においはなく、味は苦い。水に溶けやすく、エタノール(95)にきわめて溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品1.0gを水20mLに溶かした液のpHは7.0～9.0である。吸湿性である。

〔包 装〕

パンカル散 1g中100mg含有) 500g

〔主 要 文 献〕

- 1) 中村ら: 新ビタミン学(日本ビタミン学会) 306(1969)
- 2) Pace, J. K. et al.: J. Nutr. 74 345(1961)
- 3) 吉利ら: 栄養と食糧 16(5) 473(1963)



〔文献請求先・製品情報お問い合わせ先〕
第一製薬株式会社 製品情報センター
〒103-8541 東京都中央区日本橋小網町 1 番 8 号
本社別館
電 話 : 0120-189-861

※※ 製造販売元
 第一製薬株式会社 東京都中央区日本橋三丁目14番10号

®登録商標

504187-B0